



みやたん かわらばん

TOPIC 2026 新春特別企画「将来のヒントは、働いた先にあった」宮短生インタビュー

宮古市で子供や若者の居場所作りなどに取り組む「みやっこハウス」で長期インターン生として活動している宮短生にインタビュー！目をきらきら輝かせてお話をしてくれる姿がとても印象的でした！

みやっこハウスとの出会いは？

〈菅〉今後の目標を見つけないかと思って、宮短の就職・編入相談室に行った際、みやっこハウスの存在を知り、すぐ連絡を取って訪ねてみました。

〈酒〉菅さんと寮の部屋が隣同士で話をする機会が多くあり、地域創生について興味があったので、面白そうだなと思って一緒にみやっこハウスに行ってみたのがきっかけです。

すがわら ゆな
菅原 結奈さん
宮古短大1年
(岩手県出身)



さかい ひな
酒井 陽名さん
宮古短大1年
(福島県出身)

今後やってみたいことは？

〈酒〉企画を考え中ですが、みんなで餅つきをして、ついたお餅を食べたいです。

〈菅〉居場所づくりを広げていきたいと思っています。また、みやっこベースでの活動から、マネジメント的な力が身につけてきたなと感じているので、色々なことに挑戦していきたいです。

どんな活動をしているの？

〈菅〉子どもたちと遊ぶことがメインで週に2回程度活動しています。今は、居場所づくりとして「高校生の放課後ラウンジ」という、高校の空き教室と一緒に勉強したりする活動を始めています。

〈酒〉小中高生が居場所として利用しているので、訪問者とお話をしたり、ボードゲームをしたりしています。また、地域のイベントにもボランティアで参加しています。

印象に残っている活動は？

〈酒〉子どもたちが架空のまちで社会の仕組みを体験して学ぶ「みやっこタウン」というイベントを通して、みんなが楽しそうにしている姿がとても印象的でした。

〈菅〉自分の求めていた場所がここにあった！と思いました。子どもたちに名前を覚えてもらって呼ばれた時は、とても嬉しいですね。活動はいつも、ものすごく楽しいです！

ひとことメッセージを！

〈菅〉みやっこベースさんに出会い、「私が考えていた場所が実現している！」と感じました。これからも大好きな一員に加えて、宮古市も第二の故郷と思えるくらい、積極的に活動していきたいです。

〈酒〉卒業したら岩手を離れてしまいますが、できる限りイベントに参加したり、みやっこベースとはずっとつながっていたいです！



教員コラム

宮古短期大学部 准教授 鈴木 将人

経営学関連の科目を担当している鈴木です。宮古短期大学部で学ぶ専門分野の1つに経営学があります。経営学では、企業や組織がどのように価値を生み出し社会の中で活動しているのかを学びます。例えば、授業では「なぜこの商品は売れるのか」「なぜ同じような環境でもうまくいく組織とそうでない組織があるのか」といった身近な事例をもとに考えていきます。このように経営学は、現実の社会で生じていることを対象とする学問です。経営学の視点から見ると、ニュースで見る企業の成功や失敗、よく利用する身近なお店の工夫なども、その理由や背景が理解しやすくなります。宮短では、オープンキャンパスや授業公開などを通して、実際の授業を体験できます。宮短のホームページや岩手県立大学のX(@Iwate_puPR)で情報をお知らせしていますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

「宮古短期大学部の教員紹介」はこちら →



保健室ぶち健康講座

アルコールパッチテストで体質チェック ～あなたはお酒に強い？弱い？～

保健室では、学生を対象に「ぶち健康講座」を開催しました。20歳を迎えてお酒を飲む機会が増える前に、自分のアルコール体質や注意点を知り、飲酒の危険性について学ぶことで、飲酒による事故を防ごう！と、毎年アルコールパッチテストを実施しています。結果が出るまではドキドキした様子で、自分はお酒に強いと思う？弱いと思う？と予想しながら説明に耳を傾けてくれました。

参加した学生からは、「楽しく飲もうと思った」「飲み始める前に自分の体質を知れたので今後に活かしたい」「飲める体質で良かったが気を付けたい」などの声が聞かれました。保健室は、ケガや体調不良の時に利用する場所と思っている方も多いと思いますが、学生が健康について考えたり、いつでも気軽に相談できる場所でありたいと思っています。(古)

皮膚の色等で
体質がわかります！



学生寮

夕風寮がより快適に！！

宮古短期大学部学生寮「夕風寮」では、学生により快適に過ごしてもらおうと、空調設備を最新のものに交換しました。また、給水設備等の更新も行い、洗面台もリニューアルしました。これらの工事により、猛暑の夏も寒い冬も快適な寮生活を過ごせることと思います。(平)

寮生の声



空調設備が新しくなり、部屋が温まるのが早くなってとても快適に過ごせています。また、洗面台の雰囲気も明るくなり、収納には扉もついたので使いやすくなりました。(1年)

宮古短期大学部では学生寮「夕風寮」を大学に併設しています(定員あり)。朝夕の食事、電気光熱水費込み月約3万円、個室・Wi-Fi完備の安心した学生生活が送れます。

総合三陸学ノート

R7年4月から開講した、オンリーワンの探求科目「総合三陸学」第6回の授業の様子をお届けします。

第6回「東日本大震災と復興防災」2025年5月23日(金)
杉安 和也 先生 (岩手県立大学准教授)

2011年の東日本大震災を題材に、「災害はいつでも起こりうる」という前提で命を守るための事前準備について学びました。地震発生から3分後に大津波警報が出された事例、自動車避難が渋滞を招いた課題、田老地区の堤防を越えた津波や復興後の内水氾濫など、多様な災害の脅威が紹介されました。また、緊急地震速報時にはまず身を守ること、道路復旧に1週間を要した経験から備蓄の重要性も強調されました。

～学生レポートより～

- ・ 食料の備蓄など普段からの備えを意識したい。避難場所については、家だけではなく行く先々で確認したいと思った。
- ・ 三陸の防災対策を全国に広めていけたら多くの人の命を守れると思う。

杉安先生が副センター長を務める
岩手県立大学防災復興支援センターのWEBサイトはこちら

